

福島第一原子力発電所現地確認報告書

1 確認日

令和7年8月18日（月）

2 確認箇所

- ・ J 9 タンクエリア（図1）
- ・ J A E A 第2棟建設工事（図1）

3 確認項目

- （1） J 9 タンクエリアタンク解体作業の実施状況
- （2） J A E A 第2棟建設工事の状況

4 確認結果の概要

（1） J 9 タンクエリアタンク解体作業の状況

J 8 及び J 9 タンクエリア（ALPS 処理水が貯留されている）では、3号機の燃料デブリ取り出し関連施設の建設が予定されている。J 9 タンクエリアでは、エリア内に設置された溶接型タンクの解体が令和6年度下期から令和7年度末にかけて計画されている。このため、県では、J 9 タンク解体工事の実施状況について継続的に確認しており、本日もその確認を行った。（前回確認：令和7年7月3日）

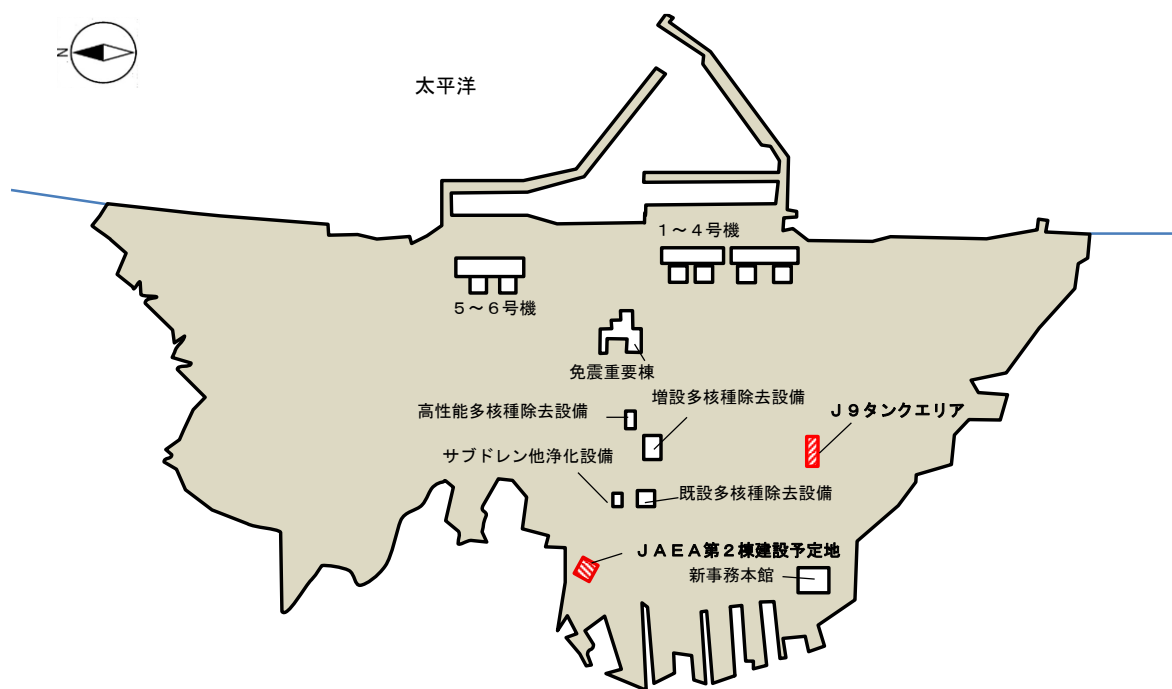
- ・ J 9 タンクエリアでは全12基中11基目の溶接型タンクの解体が完了しており、未解体タンクは、1基のみとなっていた。（写真1）
- ・ 当日は、タンク減容ヤードでの切断作業等は行われておらず、これまでに解体した部材等が整理されるとともに、最後のタンク解体に向けて、タンク溶断作業の準備が進められていた。（写真2）
- ・ J 9 タンクエリア西側の単管パイプで区画されたエリアで、解体されたタンクやその付属品の解体片が仮置きされていた。（写真3）
- ・ 確認した範囲において、解体片の飛散等の異常はなかった。

（2） J A E A 第2棟建設工事の状況

日本原子力研究開発機構（以下「J A E A」という。）は、事故で発生した燃料デブリ等の安全な取り出し等の作業推進に資するための燃料デブリの性状の把握を目的に、福島第一原子力発電所の敷地内に、放射性物質分析・研究施設第2棟（以下「J A E A 第2棟」という。）の設置を計画している。J A E A 第2棟の建設工事は令和7年3月31日に着工しており、県では設置工事の状況を継続的に確認しているが、本日もその確認を行った。（前回確認：令和7年6月25日）

- ・ 建設現場ではサマータイム時間帯による作業が行われ、J A E A 第2棟地下1階の基礎工事が進められていた。

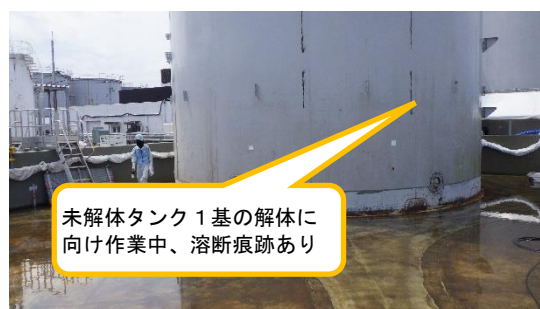
- ・安全掲示板には作業毎に危険予知活動表が掲示されるとともに、作業員同士の声掛けやフルハーネスの着用など安全対策が徹底されていた。
- ・現場通路の入口には熱中症対策として暑さ指数（WBGT）が掲示されるとともに、警戒レベルを表すのぼりが設置されており、作業中も容易に確認できる工夫がなされていた。また、現場事務所の出入口には熱中症対策としてミスト扇風機が設置されていた。（写真4）



（図1）福島第一原子力発電所構内概略図



（写真1－1）J9タンクエリア
解体状況①



（写真1－2）J9タンクエリア
解体状況②



(写真 1－3) J9タンクエリア
解体状況③ (タンク内部)



(写真 1－4) J9タンクエリア
解体状況④ (タンク内部)



(写真 2－1) 切断作業場の
整理状況①



(写真 2－2) 切断作業場の
整理状況②



(写真 3－1) タンク切断片の
仮置き状況①



(写真 3－2) タンク切断片の
仮置き状況②



(写真 4－1) 作業安全掲示板と
熱中症予防対策



(写真 4－2) 現場事務所出入口に
設置されたミスト扇風機

5 プラント関連パラメータ等確認

本日確認したデータについて、異常値は確認されなかった。